



想いを込めての窯焚き



ギャラリー玄関



ギャラリー



明り



印(しるし)



和の癒し



峰とし子  
Toshiko Mine

陶器の魅力に導かれ独学で一心不乱陶芸に没頭。その後、人間国宝「井上萬二」氏に師事し、陶芸の基礎を習得。規制に掎われない自由な発想で作陶活動を展開。

- 駐車場 (3~4台)
- 作業風景見学
- 体験教室
- 要連絡

窯印・作家印▶

# 時空窯



伝統的な和に、女性のモダンな感性を。

打ち込める物が欲しいと近所の唐津焼教室に通ったことがきっかけで、作陶家の道に進んだ峰さん。目指しているものは、「和モダン」。伝統的な唐津焼の良さを活かしながらも、女性ならではの視点・感性を取り入れ、伝統的な和の器の中に小洒落た凛としたものを表現したいと作陶づくりに励む。

茶道や料理、近年注目される「おもてなし」という場面で見られる日本人の繊細さを活かすために器をどう表現すれば良いか、常に自問自答している。先人達が育み継承してきた唐津焼に携わっていることが幸せであり、人生が豊かになったと笑顔で話す姿が印象的だ。土が教えてくれた人生、まだまだ続きがありそうだ。

